

講演内容			
------	--	--	--

- ①CCUS/カーボンリサイクルにおけるCO₂-SUICOMの位置づけについて
 - ・CO₂をコンクリートへ吸収・固定化でき、実用化された世界唯一の技術。1m³あたり18kgのCO₂を吸収する。
 - ・2008年に商品化し2011年より工事に適用。近年になり、CO₂削減機運の高まりを受け脚光を浴びている。
- ②カーボンネガティブコンクリートCO₂-SUICOMのCO₂を吸収・固定するメカニズムについて
 - ・プレキャスト製造時に、炭酸化養生により、CO₂を吸収・固定させることができる。
 - (CO₂を吸収させることで強度を発現させるメカニズム ← 古代ローマ・古代中国セメントの硬化メカニズムを参考)
- ③CO₂-SUICOMの実績・特長と今後の展開について
 - ・コンクリートブロック(境界ブロック等)、コンクリート型枠、天井PCaパネル等コンクリート製品への適用実績有
 - ・圧縮強度は普通コン同等、乾燥収縮量少、生物・植物に優しい(低アルカリ)等の特長有・・・今後適用拡大を目指す

【参考】 「CO₂低減対策:環境配慮型コンクリート CO₂-SUICOM[®](シーオーツースイコム)」

URL https://www.kajima.co.jp/tech/c_eco/co2/index.html#!body_02

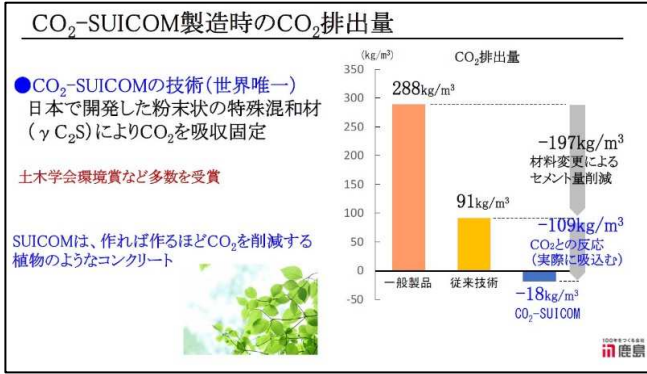
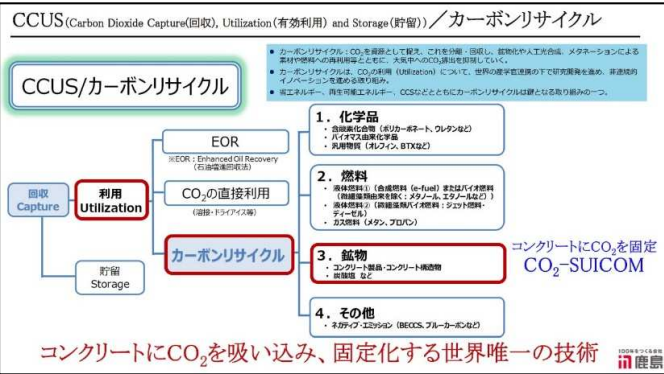


講師：渡邊 賢三 様



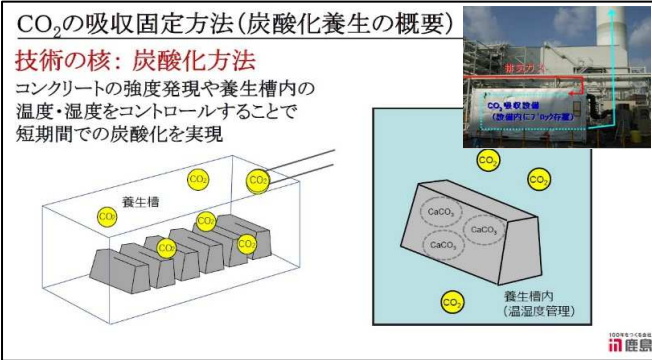
研修状況

【研修会資料より抜粋】



CCUS/カーボンリサイクルにおけるCO₂-SUICOMの位置付け

CO₂-SUICOMのCO₂を吸収・固定するメカニズム (CO₂を18kg/m³吸収)



CO₂の吸収固定方法の概要(炭酸化養生)



CO₂-SUICOMの実績紹介(プレキャストブロック等)